

# 景況調査 結果報告 Vol. 12～アンケート期間 R1. 4月-6月～

今回、第12回目となる景況調査の報告をします。今回も経営者にとって命ともいえる「資金繰り」に注目し、全国の調査結果と鳥栖の調査結果をDI値にて比較しました。

景況調査（資金繰りDI結果）全国版

	1-3月	4-6月	前期差
製造業	▲10.2	▲9.9	0.3
建設業	▲1.1	▲1.4	▲0.3
卸売業	▲9.1	▲7.6	1.5
小売業	▲17.8	▲20.8	▲3.0
サービス業	▲10.8	▲11.3	▲0.5

景況調査（資金繰りDI結果）鳥栖版

	1-3月	4-6月	前期差
製造業	0	0	0
建設業	▲20.0	▲20.0	0
卸売業	0	0	0
小売業	▲40.0	▲50.0	▲10.0
サービス業	0	0	0

## 注目ポイント

全産業の資金繰りDI値は3期ぶりにマイナス幅が拡大しました。前期から製造業・卸業が特に伸びています。

## 注目ポイント

卸売業、製造業、建設業、サービス業は前期と変わりなしとなりました。小売業は前期から▲10.0とマイナスになっています。

景況調査とは・・・

中小企業、小規模企業の景況を把握し、資料や情報の収集の為四半期毎にアンケート方式で実施しています。

- ◆調査期間 平成31年4月～令和元年6月
- ◆対象企業 鳥栖市内小規模事業 30事業所
- ◆業種 製造5、建設5、卸売3、小売7  
サービス10 計30事業所

※小規模事業とは、商業・サービス業では従業員5名以下、それ以外の業種は20名以下の企業をいう。

DI値とは・・・

ゼロを基準として、プラスの値は上向き傾向を表し、マイナスの値は下向き傾向を表します。

**DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの割合)**

《経営力アップのために！！》

当初HPに「商いは足し算でなく掛け算・接遇力強化に不可欠な従業員満足度」というテーマで「お客様への情報発信 vol.12」を【商業界9月号 P28】を参照記事として作成し、掲載しております。

ポイントを押さえ、分かりやすいものとなっておりますので、「販売力強化」のご参考にしてみてはいかがでしょうか？是非、ご覧下さい！！

